

# 霜取周期時間設定の目安

低温多湿の条件下で使用される場合、熱交換器に霜が付きやすくなります。  
特に庫内温度が5℃～10℃の範囲で高湿条件の場合は、短時間で熱交換器に多量の霜が付きます。  
また、庫内温度が10℃以上でも蒸発温度が0℃以下の場合は、同様に多量の霜が付きます。

**熱交換器に多量に霜が付いた条件で霜取りを実施すると、熱交換器から露飛びが発生しドレンパンで捕捉できない水がパネルから流れ落ちる恐れがあります。**  
**下記グラフを用い、使用される庫内温度、湿度から霜取周期時間の設定を行ってください。**  
**冷媒変更時は、霜取設定の見直しをしてください。**

## 運転条件

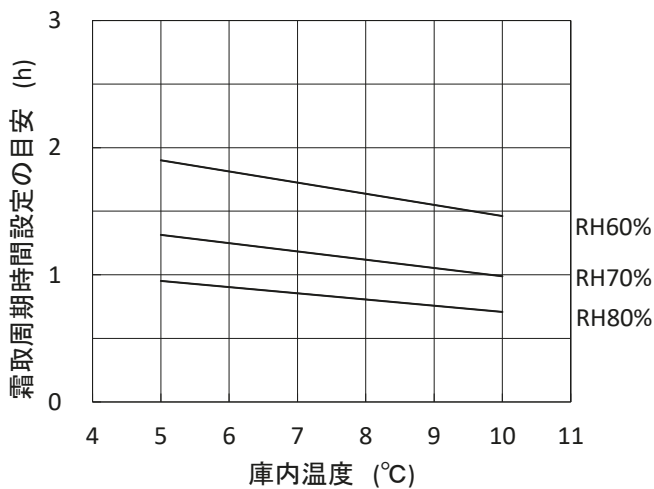
電源：三相200V 50/60Hz

運転状態：サーモOFFせず冷却運転し続けた場合

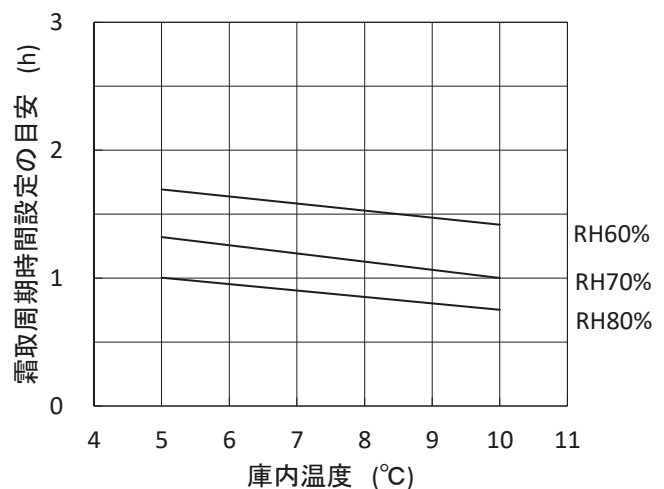
風量：60/70 m<sup>3</sup>/min (50/60Hz UCH-D6CNA形)

64/73 m<sup>3</sup>/min (50/60Hz UCH-D8CNA形)

UCH-D6CNA形



UCH-D8CNA形



上記グラフは目安であって実際の設定に際しては、据付条件により調節を行ってください。  
霜取りは、庫内温湿度が急激に上昇する時間(搬入出、洗浄など)を避けて設定を行ってください。